



「ジェンダー平等の実現に関する検討会」における検討状況について

本市は「SDGs 未来安心都市・明石」を掲げ、ジェンダー平等を推進し、性別などにかかわらず誰もがその個性と能力を発揮し、いきいきと活躍できる社会の実現を目指しています。

現在、その取組の一環として、「明石市ジェンダー平等の実現に関する検討会（以下「検討会」といいます。）」を設置し、ジェンダー平等を推進するための方策や取組について議論を進めているところです。

つきましては、現在の検討状況について報告します。

1 検討会等の開催状況

以下のとおり4回の検討会を開催し、特に意思決定過程におけるジェンダー平等を推進するために検討を進めてきました。

また、検討会以外にも当事者と意見交換する機会を設けるなど、丁寧な検討を行ってきました。

時 期	内 容
2022年1月28日(金)	第1回検討会
3月11日(金)	第2回検討会
3月17日(木)	LGBTQ+当事者等との意見交換
3月28日(月)	障害当事者との意見交換
4月14日(木)	第3回検討会
6月3日(金)	第4回検討会(最終)

2 検討会の構成

学識経験者、弁護士、女性活躍推進に係る教育・経済に関する知識及び経験を有する者など10名の委員により構成されています。

3 検討会における主な検討事項

①女性の意思決定過程への参画

市職員、特別職、行政委員会委員、審議会委員などあらゆる意思決定の場面に女性が参画するために必要な事項について、検討を行いました。

②審議会等における委員の多様性の向上

審議会、検討会などで、多様な当事者が意思決定過程に参画できるよう、審議会等の委員の選任基準を定めている明石市市民参画条例を見直し、委員の男女比率や障害当事者の参画を促進することを検討しました。

③ジェンダー平等を掲げる新たな条例の制定

ジェンダー平等を実現し、持続的に取り組むための指針として、総合的かつ包括的な条例の制定について検討しました。

④諸外国の例に基づいた選挙制度の考察

諸外国におけるパリテ・クオータ制などの例を参考にして、ジェンダーバランスを重視した選挙制度について考察しました。

4 今後の予定

2022年7月を目途に、委員の意見を取りまとめた提言書を受け取る予定であり、その提言を受け、さらなる取組を進めていく予定です。